

各教科 ・科目	学 年 類 型 必履修・選択	標準 単位 数	1 学年		2 学年		3 学年			4 学年			※科目ご との履修 単位総数
			必履修	学校必履修	必履修	学校必履修	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2(1)		2(1)								4
	英語コミュニケーションⅡ	4											0
	英語コミュニケーションⅢ	4											0
	論理・表現Ⅰ	2								2(1)●			0~2
	論理・表現Ⅱ	2											0
	論理・表現Ⅲ	2											0
家庭	家庭基礎	2			2(1)								2
	家庭総合	4											0
情報	情報Ⅰ	2											0
	情報Ⅱ	2											0
理数	理数探究基礎	1											0
	理数探究	2~5											0
地理歴史	江戸から東京へ	1~2											0
人間と社会	人間と社会	1			1(1)								1
国語	実用国語	-									2(1)		2
数学	建築数学	-									2(1)●		0~2
共通教科・科目単位数計			13		12		9			7			41
工業	工業技術基礎	3~4		2(2)		2(2)							4
	課題研究	3~4									3(3)		3
	建築工学製図	2~8		2(2)		2(2)							4
	工業情報数理	2~4		2(1)									2
	建築構造設計	3~8					2(1)				1(1)		3
	建築施工	2~6									2(1)		2
	建築法規	2~4									2(1)		2
	設備計画	2~6				2(1)◇							0~2
	空気調和設備	2~8					2(1)×						0~2
	衛生・防災設備	2~8					2(1)★						0~2
	建築実習	6~12					2(1)○				2(1)□		0~4
	設備工業実習	6~12					2(1)○				2(1)□		0~4
	建築製図	2~8					2(1)△				2(1)◎		0~4
	設備工業製図	2~8					2(1)△				2(1)◎		0~4
建築構造	2~6				2(2)	2(1)★						2~4	
建築計画	3~8				2(1)◇	2(1)×						0~4	
専門教科・科目単位数計			6		8		10			12			36
総合的な探究の時間			3~6										
ホームルーム活動			1		1		1			1			4
生徒一人当たりの履修単位数計			20		21		20			20			81
習熟度別授業 少人数指導授業			少人数指導授業：1・2学年「工業技術基礎」（2単位）は1クラス2展開、4学年「課題研究」（3単位）は1クラス3展開、1・2「建築工学製図」（2単位）、2学年「建築構造」（2単位）、4学年「建築施工」（2単位）、4学年「建築法規」（2単位）は1クラス2展開										
備考			(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 選択科目の学校必履修科目は2学年で記号◇から1科目を選択、3学年で記号○×△★記号からそれぞれ1科目ずつを選択、4学年で記号□◎●からそれぞれ1科目ずつを選択する。 (3) 「情報Ⅰ」（2単位）は1学年「工業情報数理」（2単位）で代替する。 (4) 「総合的な探究の時間」（3単位）は4学年「課題研究」（3単位）で代替する。 (5) 学校外における学修「実務代替」「就業体験」は審査の上で「工業技術基礎」「課題研究」「建築工学実習」等の増加単位とし、4年間で認められる学校外単位は20単位を上限とする。 (6) 学校外における学修「高等学校卒業程度認定試験の合格科目」は対応する科目の増加単位とする。なお、既に単位を修得した教科・科目は対象外とする。 (7) 学校外における学修「知識及び技能に関する審査の結果」は審査の上で対応する科目の単位とする。 (8) 数学Ⅰ：1学年（2単位）及び2学年（2単位）の4単位の学習をもって、科目の履修となる。 (9) 英語コミュニケーションⅠ：1学年（2単位）及び2学年（2単位）の4単位の学習をもって、科目の履修となる。										

各教科 ・科目	学 年 類 型 必修・選択	標準 単位 数	1 学年		2 学年		3 学年			4 学年			※科目ご との履修 単位数
			必修	学校必修	必修	学校必修	必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2(1)		2(1)								4
	英語コミュニケーションⅡ	4											0
	英語コミュニケーションⅢ	4											0
	論理・表現Ⅰ	2					2(1)						0~2
	論理・表現Ⅱ	2											0
	論理・表現Ⅲ	2											0
家庭	家庭基礎	2			2(1)								2
	家庭総合	4											0
情報	情報Ⅰ	2											0
	情報Ⅱ	2											0
理数	理数探究基礎	1											0
	理数探究	2~5											0
地理歴史	江戸から東京へ	1~2											0
人間と社会	人間と社会	1				1(1)							1
国語	実用国語	-						2(1)					2
数学	建築数学	-						2(1)					0~2
共通教科・科目単位数計			13		16		13						42
工業	工業技術基礎	3~4		2(2)		2(2)							4
	課題研究	3~4						3(1)					3
	建築工学実習	6~12				2(1)							2
	建築工学製図	2~8		2(2)		2(2)							4
	工業情報数理	2~4		2(1)									2
	建築構造設計	3~8				3(1)							3
	建築施工	2~6						2(1)					2
	建築法規	2~4						2(1)					2
	設備計画	2~6				2(1)◇							0~2
	空気調和設備	2~8						2(1)×					0~2
	衛生・防災設備	2~8						2(1)★					0~2
	建築実習	6~12						2(1)○					0~2
	設備工業実習	6~12						2(1)○					0~2
	建築製図	2~8						2(1)△					0~2
設備工業製図	2~8						2(1)△					0~2	
建築構造	2~6				2(2)		2(1)★					2~4	
建築計画	3~8				2(1)◇		2(1)×					0~4	
専門教科・科目単位数計			6		13		15						34
総合的な探究の時間			3~6										
ホームルーム活動			1		1		1						3
生徒一人当たりの履修単位数計			20		30		29						79
習熟度別授業 少人数指導授業			少人数指導授業：1・2学年「工業技術基礎」(2単位)は1クラス2展開、4学年「課題研究」(3単位)は1クラス3展開、1・2「建築工学製図」(2単位)、2学年「建築構造」(2単位)、4学年「建築施工」(2単位)、4学年「建築法規」(2単位)は1クラス2展開										
備考			(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 選択科目の学校必修科目は2学年で記号◇から1科目を選択、3学年で記号○×△★記号からそれぞれ1科目ずつを選択する。 (3) 「情報Ⅰ」(2単位)は1学年「工業情報数理」(2単位)で代替する。 (4) 「総合的な探究の時間」(3単位)は4学年「課題研究」(3単位)で代替する。 (5) 学校外における学修「実務代替」「就業体験」は審査の上で「工業技術基礎」「課題研究」「建築工学実習」等の増加単位とし、4年間で認められる学校外単位は20単位を上限とする。 (6) 学校外における学修「高等学校卒業程度認定試験の合格科目」は対応する科目の増加単位とする。なお、既に単位を修得した教科・科目は対象外とする。 (7) 学校外における学修「知識及び技能に関する審査の成果」は審査の上で対応する科目の単位とする。 (8) 数学Ⅰ：1学年(2単位)及び2学年(2単位)の4単位の学習をもって、科目の履修となる。 (9) 英語コミュニケーションⅠ：1学年(2単位)及び2学年(2単位)の4単位の学習をもって、科目の履修となる。										

各教科 ・科目	学年 類型 必履修・選択	標準 単位数	1 学年		2 学年		3 学年			4 学年			※科目ご との履修 単位数総数
			必履修	学校必履修	必履修	学校必履修	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2(1)		2(1)								4
	英語コミュニケーションⅡ	4											0
	英語コミュニケーションⅢ	4											0
	論理・表現Ⅰ	2								2(1)●			0~2
	論理・表現Ⅱ	2											0
	論理・表現Ⅲ	2											0
家庭	家庭基礎	2			2(1)								2
	家庭総合	4											0
情報	情報Ⅰ	2											0
	情報Ⅱ	2											0
理数	理数探究基礎	1											0
	理数探究	2~5											0
地理歴史	江戸から東京へ	1~2											0
人間と社会	人間と社会	1			1(1)								1
国語	実用国語	-									2(1)		2
数学	建築数学	-									2(1)●		0~2
共通教科・科目単位数計			13		12		9			7			41
工業	工業技術基礎	3~4		2(2)		2(2)							4
	課題研究	3~4									3(3)		3
	建築工学製図	2~8		2(2)		2(2)							4
	工業情報数理	2~4		2(1)									2
	建築構造設計	3~8					2(1)				1(1)		3
	建築施工	2~6									2(1)		2
	建築法規	2~4									2(1)		2
	設備計画	2~6				2(1)◇							0~2
	空気調和設備	2~8					2(1)×						0~2
	衛生・防災設備	2~8					2(1)★						0~2
	建築実習	6~12					2(1)○				2(1)□		0~4
	設備工業実習	6~12					2(1)○				2(1)□		0~4
	建築製図	2~8					2(1)△				2(1)◎		0~4
	設備工業製図	2~8					2(1)△				2(1)◎		0~4
建築構造	2~6				2(2)	2(1)★						2~4	
建築計画	3~8				2(1)◇	2(1)×						0~4	
専門教科・科目単位数計			6		8		10			12			36
総合的な探究の時間			3~6										
ホームルーム活動			1		1		1			1			4
生徒一人当たりの履修単位数計			20		21		20			20			81
習熟度別授業 少人数指導授業			少人数指導授業：1・2学年「工業技術基礎」（2単位）は1クラス2展開、4学年「課題研究」（3単位）は1クラス3展開、1・2「建築工学製図」（2単位）、2学年「建築構造」（2単位）、4学年「建築施工」（2単位）、4学年「建築法規」（2単位）は1クラス2展開										
備考			(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 選択科目の学校必履修科目は2学年で記号◇から1科目を選択、3学年で記号○×△★記号からそれぞれ1科目ずつを選択、4学年で記号□◎●からそれぞれ1科目ずつを選択する。 (3) 「情報Ⅰ」（2単位）は1学年「工業情報数理」（2単位）で代替する。 (4) 「総合的な探究の時間」（3単位）は4学年「課題研究」（3単位）で代替する。 (5) 学校外における学修「実務代替」「就業体験」は審査の上で「工業技術基礎」「課題研究」「建築工学実習」等の増加単位とし、4年間で認められる学校外単位は20単位を上限とする。 (6) 学校外における学修「高等学校卒業程度認定試験の合格科目」は対応する科目の増加単位とする。なお、既に単位を修得した教科・科目は対象外とする。 (7) 学校外における学修「知識及び技能に関する審査の結果」は審査の上で対応する科目の単位とする。 (8) 数学Ⅰ：1学年（2単位）及び2学年（2単位）の4単位の学習をもって、科目の履修となる。 (9) 英語コミュニケーションⅠ：1学年（2単位）及び2学年（2単位）の4単位の学習をもって、科目の履修となる。										

各教科 ・科目	学年 類型 必履修・選択	標準 単位数	1 学年		2 学年		3 学年			4 学年			※科目ご との履修 単位数
			必履修	学校必履修	必履修	学校必履修	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2(1)		2(1)								4
	英語コミュニケーションⅡ	4											0
	英語コミュニケーションⅢ	4											0
	論理・表現Ⅰ	2									2(1)●		0~2
	論理・表現Ⅱ	2											0
	論理・表現Ⅲ	2											0
家庭	家庭基礎	2			2(1)								2
	家庭総合	4											0
情報	情報Ⅰ	2											0
	情報Ⅱ	2											0
理数	理数探究基礎	1											0
	理数探究	2~5											0
地理歴史	江戸から東京へ	1~2											0
人間と社会	人間と社会	1			1(1)								1
国語	実用国語	-									2(1)		2
数学	建築数学	-									2(1)●		0~2
共通教科・科目単位数計			13		12		9			7			41
工業	工業技術基礎	3~4		2(2)		2(2)							4
	課題研究	3~4									3(3)		3
	建築工学製図	2~8		2(2)		2(2)							4
	工業情報数理	2~4		2(1)									2
	建築構造設計	3~8					2(1)				1(1)		3
	建築施工	2~6									2(1)		2
	建築法規	2~4									2(1)		2
	設備計画	2~6				2(1)◇							0~2
	空気調和設備	2~8					2(1)×						0~2
	衛生・防災設備	2~8					2(1)★						0~2
	建築実習	6~12					2(1)○				2(1)□		0~4
	設備工業実習	6~12					2(1)○				2(1)□		0~4
	建築製図	2~8					2(1)△				2(1)◎		0~4
	設備工業製図	2~8					2(1)△				2(1)◎		0~4
建築構造	2~6				2(2)		2(1)★					2~4	
建築計画	3~8				2(1)◇		2(1)×					0~4	
専門教科・科目単位数計			6		8		10			12			36
総合的な探究の時間			3~6										
ホームルーム活動			1		1		1			1			4
生徒一人当たりの履修単位数計			20		21		20			20			81
習熟度別授業 少人数指導授業			少人数指導授業：1・2学年「工業技術基礎」（2単位）は1クラス2展開、4学年「課題研究」（3単位）は1クラス3展開、1・2「建築工学製図」（2単位）、2学年「建築構造」（2単位）、4学年「建築施工」（2単位）、4学年「建築法規」（2単位）は1クラス2展開										
備考			(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 選択科目の学校必履修科目は2学年で記号◇から1科目を選択、3学年で記号○×△★記号からそれぞれ1科目ずつを選択、4学年で記号□◎●からそれぞれ1科目ずつを選択する。 (3) 「情報Ⅰ」（2単位）は1学年「工業情報数理」（2単位）で代替する。 (4) 「総合的な探究の時間」（3単位）は4学年「課題研究」（3単位）で代替する。 (5) 学校外における学修「実務代替」「就業体験」は審査の上で「工業技術基礎」「課題研究」「建築工学実習」等の増加単位とし、4年間で認められる学校外単位は20単位を上限とする。 (6) 学校外における学修「高等学校卒業程度認定試験の合格科目」は対応する科目の増加単位とする。なお、既に単位を修得した教科・科目は対象外とする。 (7) 学校外における学修「知識及び技能に関する審査の結果」は審査の上で対応する科目の単位とする。 (8) 数学Ⅰ：1学年（2単位）及び2学年（2単位）の4単位の学習をもって、科目の履修となる。 (9) 英語コミュニケーションⅠ：1学年（2単位）及び2学年（2単位）の4単位の学習をもって、科目の履修となる。										